

Instruction for Authors

執筆要領

I. 欧文原稿の作成方法

(原著論文original paper及びその他の記事)

1. A 4 版 (210×297mm) またはこれに近い大きさのタイプ用紙に、ダブルスペースで印字する。用紙の周囲に約 3 cmの余白を残す。
2. 原稿の第 1 ページには、論文題名、著者名、所属を記載し、下端にRunning Title (奇数ページの上に見出しとして印刷される) を以下のように記載する。

- A) 論文題名：冠詞、前置詞、接続詞を除く語の頭文字を大文字とする (学名など規定のある場合を除く)。第○報の場合には、1, 2, 3, のようにする。

記載例：

The Waltzing Mutant in the Musk Shrew (*Suncus murinus*, Insectivora) Characterized by the Circling and Head-Shaking Behaviors 1. Inheritance and Breeding.

- B) 著者名：名、姓の順 (外国人が著者の場合はその国の習慣に従う) にローマ字で表記する。著者が 2 名の場合は“and”でつなぎ、3 名以上の場合は最後の著者以外を“,”でつなぎ、最後の著者を“and”でつなぐ。

記載例：

Ichiro Kawasaki and Jiro Yamada (著者が 2 名の場合)

Ichiro Kawasaki, Jiro Yamada, and Saburo Ogawa (著者が 3 名以上の場合)

- C) 所属研究室名：Laboratory of..., College of Agriculture, Osaka Prefecture University の形式で記載する。

- D) Running Title：著者名は姓のみを記し、著者が 3 名以上の場合には第 1 著名のみを記して、第 2 著者以下を et al. で表す。略表題は 50 文字以内とし、第○報は 1, 2... のように記し、副題はつけない。

記載例：

Kawasaki *et al.* :Waltzing, Behavioral Mutant of *Suncus murinus*-1

3. 原稿の第 2 ページには、原著論文の場合は 250 語以内、総説、学位請求論文の場合には 1,000 語程度の英文 Abstract を記載する。短報および資料では Abstract を省略できる。

4. 本文は第 3 ページからタイプする。本文中の引用文献は、適切な個所に、(Yamaguchi, 1995), (Abe *et al.*, 1995a ;Yamaguchi and Mochioka, 1996) のように記入する。

5. 図・表の表題は Fig 1. Location of... および Table 2. Various cultivars of... のように記入し、図の表題は図の下に、表の表題は表の上に記載する。注や説明は図、表ともに図表の下に記す。

図は白色ケント紙、淡青色の方眼紙またはトレーシングペーパー (白色の台紙をつける) を用い、墨入れを行う。記入する文字、符号は鉛筆書きでよい。図の縮小率 (長さ) を特に希望する場合は欄外に赤字で示す。

表は印刷面のように作製する。

図表の挿入場所は本文の該当場所の右欄外に赤字で明記する。

6. 引用文献 (References) は著者名をアルファベット順に配列し、次の例にならって記載する。著者名、表題とも省略しない。

記載例：

Murashima, K., Yomota, A., Tejima, S., and Shimizu, M. 1977. Field investigation on physical properties of reclaimed soil in Oizumi Park. Bull. Univ. Osaka Pref., 29, 7-16. (in Japanese)(一般和文論文の引用例)

Sendecor, G.W. 1961. Statistical Methods. Iowa State Univ. Press, Iowa, p.13.(単行本の 1 ページのみの引用例)

Tanaka, T. 1977. Nogyo Mondai. Fudaisha, Sakai, 215p. (in Japanese)(単行本全体を参考にした例)

Hendricks, S.B. and Bortwhick, H.A. 1963. Control of plant growth by light. In "Environmental Control of Plant Growth" (ed. by Evans, L.T.). Academic Press, New York, 233-264.(編集者のある本の 1 章を引用した例)

7. その他、原稿のスタイルとレイアウトについては、最新の号を参照すること。

II. 和文原稿の作成方法

1. 20×20 字詰め A 4 版横書き原稿用紙を用い、楷書で清書する。なお、できるだけワープロプロセッサを用いて作成する。
2. 記述は新かなづかいに従い、学術用語以外は

- 原則として当用漢字を用いる。外国語は片仮名を用い、人名その他でローマ字を記入する場合はローマン体（普通の活字体）を用いる。動植物などの学名はイタリック体指定をし、和名は片仮名書きとする。
3. 原稿の第1ページには論文題名、著者名、所属ならびにそれらの英訳を記載し、下端にRunning Titleを記す。英訳およびRunning Titleの記載は欧文原稿の作成方法に従う。
 4. 原稿の第2ページ以降には、英文Abstract、目次、本文の順にそれぞれ改ページして記載する。
 5. 図・表および欧文の引用文献は、欧文原稿の作成方法に従って記載する。和文の引用文献の記載は、下記の例に準じる。
- 記載例：
- 白河紀男 1970. 除草剤CMMPに関する研究(第4報). 特に作用機作について. 園学雑, **38**, 193-201.
- 平井篤造・鈴木直治 1963. 植物病理の生化学(後編). 農業技術協会, 155-180.

■ Vol51 および Vol52 の校閲者一覧

大野 研 (三重大学)
 小野 忠相 (大阪府立大学名誉教授)
 草刈 眞一 (大阪府農林技術センター)
 桜谷 保之 (近畿大学)
 千家 正照 (岐阜大学)
 田中 耕司 (京都大学)
 谷川 寅彦 (大阪府立大学)
 樽本 勲 (大阪府立大学)
 大門 弘幸 (大阪府立大学)
 夏原 由博 (大阪府立大学)
 馬場栄一郎 (大阪府立大学)
 深井 誠二 (香川大学)
 前中 久行 (淡路景観園芸学校)
 増田 昇 (大阪府立大学)
 森 源治郎 (大阪府立大学)
 森本 幸裕 (大阪府立大学)
 山口 裕文 (大阪府立大学)
 山本 聡 (姫路工業大学)

<50音順、()内は校閲時の所属>